

マルダイ 工務店に呼び掛け

大工道具をスリランカへ



のこぎりやかんな、
金づち、巻尺。工務店
の片隅で眠る大工道具
を途上国に送り現地の
人に活用してほしい。

富士市大淵の住宅資
材販売マルダイ(深沢
裕一郎社長)は取引の
ある工務店を中心にそ
の呼び掛けを始めた。

道具の送り先はスリ
ランカ。学校の技術習
得授業で子供たちが実
習で使ったり、家具職
人が集まる「大工村」

「私たちの事業にぴつ
たりと思った。ほっこり
をかぶった道具に新たな
活用法が見つかり多く
の人に喜ばれている」。

新しく使い道が決まり、
喜んでくれるのではないか」と託していた。
問い合わせは同社
(2353535)。

の作業現場で役立てて
もらつたりしている。
事業を実際に進めて
いるのは、愛知県のN
PO「自立のための道
具の会」。同社では昨
年10月から協力を始め
た。これまでに工務店
から寄せられた道具は
約50種1190個。定
期的にNPOの下に持
ち込み、同社員の手で
さびを落したり刃を
研ぎ直したりして送り
出している。

そう話すのは企画した
同社事務課長の小林朋
子さん。「誰かの役に
立つているという実感
がうれしいんです」と
充実の表情を見せる。

大工道具を募つてい
るのは、偶数月の第1
または第2火曜恒例の
同社「大売出し」会場。
亡くなつた仲間の左官
道具を持ち込んだ笠井
辰雄さんは「仕事など
で出会つた人に感謝の
心を忘れなかつた人。

同社事務課長の小林朋
子さん。「誰かの役に
立つているという実感
がうれしいんです」と
充実の表情を見せる。

新しく使い道が決まり、
喜んでくれるのではないか」と託していた。
問い合わせは同社
(2353535)。